

## 第13章

# パッケージ貸出利用状況の分析

星野 咲希

本稿では、国立女性教育会館（以下、NWEC）の女性教育情報センター（以下、情報センター）が2010年度に試験的に開始し、2011年度以降本格的に運用されているパッケージ貸出の利用状況について、これまでの実績を振り返り、近年の利用状況を分析する。

### 1 パッケージ貸出とは

パッケージ貸出サービスは、大学・高等専門学校・女性関連施設・公共図書館等を対象に、男女共同参画社会形成を目指した様々なテーマに沿って図書をリストアップして貸し出すサービスである。学習者の支援や男女共同参画推進の広報・情報発信を目的としている。

女性・家庭・家族に関する専門図書館である情報センターの約14万冊の蔵書から、利用者が手に取りやすく男女共同参画やジェンダー問題等に関心を持ってもらえそうな図書を職員が選び、パッケージを作成している。サービスには、NWECであらかじめ作成したパッケージを3カ月ごとに機関間で入れ替えて1年間継続して利用する「年間パッケージ」と、機関の要望に応じた内容・冊数・期間でパッケージを作成して貸し出す「個別パッケージ」がある。

2019年度は開始から10年目となるが、9月末現在、全国累計111機関が当サービスを利用している。機関種別に見ると大学や高等専門学校、女性セ

ンターが多い。

図1 2010～2019年度 地域別・種類別利用機関数

	女性 センター *1	大学 (男女共 同参画・ 図書館)	高専・ 高校 図書館	公共 図書館	企業	自治体 男女共同 参画*2	その他	合計
北海道 ・東北	4	13	7	0	0	2	0	26
関東	6	17	5	0	1	0	1	30
北陸・ 信越・ 東海	0	7	2	0	0	0	0	9
近畿	1	7	2	0	0	0	0	10
中国・ 四国	1	8	12	2	0	0	0	23
九州・ 沖縄	1	8	4	0	0	0	0	13
合計	13	60	32	2	1	2	1	111

\*1 女性センター、男女共同参画センターなど \*2 地方自治体の男女共同参画課など

貸出実績を重ね、情報センターの特徴的なサービスのひとつとなったパッケージ貸出だが、昨今はどのように利用され、どのようなニーズがあるのだろうか。個別パッケージのキーワードの変遷と年間パッケージの利用統計から分析する。

## 2 個別パッケージキーワードに見るニーズ

個別パッケージは利用機関の希望する内容・冊数・期間でパッケージを作成して貸出をしている。パッケージ図書に付与するキーワードは、利用機関から提案されるもの、当館で作成するものがある。それゆえ、2～3年で内容を入れ替える年間パッケージに比べ、個別パッケージのテーマはそのときの機関の要望が即時に反映されやすい。近年の個別パッケージのキーワードを比べることで、そのニーズの変化や新たに利用機関で関心の高まっているテーマを探る。

Ⅲ NWEC 実践報告

2016年から2019年9月末現在までのキーワードをおおよその種類別にその数をまとめたものが図2である。登場回数が2回以内のものは省略し、すべてのパッケージキーワードは本文末に掲載した。

図2 2016～2019年個別パッケージキーワード

2016

男女共同参画・ジェンダー	8	理科系	5	人間関係	4	しごと	4	性的マイノリティ・セクシュアリティ	3
男女共同参画	3	理科系	4	人間関係	3	キャリア	2	LGBT	2
日本のジェンダー問題に関する英語文献	3	医師・看護師	1	コミュニケーション	1	ワークライフバランス	1	セクシュアリティ	1
ジェンダー	1					ライフキャリア	1		
女性の活躍	1								



2017

男女共同参画・ジェンダー	9	しごと	5	性的マイノリティ・セクシュアリティ	4	人間関係	2
男女共同参画	4	ワークライフバランス	2	セクシュアリティ	2	コミュニケーション	1
ジェンダー	1			LGBT	1	人間関係	1
女性学・男性学	1	キャリア	1	性的マイノリティ	1		
男女共同参画とキャリアデザイン	1	仕事	1				
男性問題	1	*男女共同参画とキャリアデザイン	1				
日本のジェンダー問題に関する英語文献	1						



2018

しごと	10	男女共同参画 ・ジェンダー	9	性的マイノリティ・ セクシュアリティ	7	人間関係	4
ワーク・ライフ・バ ランス	4	男女共同参画	5	LGBT	3	コミュニケーション	2
しごと	2	男性学	2	セクシュアリティ	3	人間関係	2
キャリア	1	男女協働	1	性的マイノリティ	1		
男女雇用機会均等法	1	ジェンダー	1				
働き方	1						
働く女性	1						
暴力	4	災害	3	子育て、介護	3		
ハラスメント	2	災害と女性	1	介護	1		
DV	1	女性と災害	1	子育て・介護	1		
児童虐待	1	防災	1	子育て支援	1		



2019

性的マイノリ ティ・セクシュ アリティ	5	SDGs、環境	3	しごと	3	男女共同参画 ・ジェンダー	3	介護	3
LGBT	4	SDGs	2	キャリア	1	ジェンダー	1	介護	2
セクシュアリ ティ	1	環境	1	しごと	1	男女共同参画	1	認知症・介護	1
				仕事と子育て	1	政治と男女共 同参画	1		

男女共同参画とキャリアデザインは「男女共同参画・ジェンダー」「しごと」でそれぞれ1回ずつカウントした

このように見ると、例年共通のテーマとして、「男女共同参画・ジェンダー」、「しごと」、「性的マイノリティ・セクシュアリティ」、「人間関係」が多いことが挙げられる。NWECのミッションに最も関係深い「男女共同参画・ジェンダー」は今回対象とした期間中、一定の高いニーズがあった。また「しごと」や「性的マイノリティ・セクシュアリティ」は2018年度以降増えており、利用機関での関心・ニーズがより高まっていると言えそうだ。その他、図2では省略されているものの、「災害」（2016 1回、2017 1回、2019 1回）や「理科系」（2017 2回、2018 2回、2019 2回）は毎年含まれている。

新しいキーワードとしては、図2では省略されているものの、2018年度から「SDGs」（1回）が登場している。2015年9月に採択され最近では広告などでも目にする事が多い「SDGs」だが、2019年度にはすでに2回登場しており、関心の高まりが感じられる。

### 3 年間パッケージ統計に見る図書の貸出状況

機関側のニーズの一方で、利用者はどのような図書を多く利用しているのだろうか。

パッケージ貸出サービスでは、利用機関に貸出記録などの利用統計の提出をお願いしている。本節では2018年度年間パッケージの利用統計から、どのような図書が多く貸出されているかを探る。

2018年度は15機関が年間パッケージを利用した。パッケージのキーワードは図3の通り。No.1、No.2は2018年度中に入れ替えを行ったので、2種類掲載している。

図3 2018年度年間パッケージ一覧

No.1	ジェンダー、医療・看護・生命倫理
No.1	SDGs、ジェンダー、セクシュアリティ、男女共同参画
No.2	人間関係、理科系
No.2	介護、芸術、子育て、人々
No.3	国際協力・海外事情、家庭・家族
No.4	ジェンダー、教育
No.5	男女共同参画、セクシュアリティ、しごと
No.6	教育、食、スポーツ、セクシュアリティ、人間関係
No.7	経済、こころ、災害、人権、政治
No.8	生き方、いのち、ジェンダー、しごと、理科系
No.9	男女共同参画、貧困・格差、しごと
No.10	キャリア、しごと、こころ、歴史、社会
No.11	キャリア、しごと、人権、多文化・国際比較、セクシュアリティ
No.12	理科系、キャリア・しごと、いのち、社会、男女共同参画、ジェンダー問題

No.13	男女共同参画、家庭・家族
No.14	国際関係、子ども、セクシュアリティ、男女共同参画、文化
No.15	理科系、からだ、いのち、男女共同参画

## 方法

2018年度の年間パッケージ利用機関は15機関であり、本校では提出された統計のうち図書ごとの貸出記録が採られている統計を用いる（パッケージ図書の館外貸出を行っていない機関もある）。この統計をもとに、下記の方法でどのような図書が多く貸出されているかを探る。

方法①：対象とする貸出統計のうち、貸出回数が1回以上あった図書を対象に、キーワードごとの貸出冊数をまとめる。

方法②：①のうち、キーワードごとの貸出率をまとめる。貸出率は（貸出された冊数） / （パッケージ図書に含まれる冊数） × 100（%）で算出する。

方法③：対象とする貸出統計のうち、1機関での貸出回数の最大値をもとに、貸出が多かった図書をまとめる。

（例：ある図書が、A機関では2回、B機関では3回貸出されていたら、その図書の貸出回数の最大値は3）

## 結果

方法①の結果は図4の通り。

年間パッケージ1,700冊のうち、貸出があったのは467冊であった。およそ4冊に1冊が貸出されていることとなる。

キーワード別に見ると、個別パッケージでもニーズの多かった「男女共同参画・ジェンダー」、「人間関係」、「しごと」、「性的マイノリティ・セクシュアリティ」の図書が多く貸出されている一方で、個別パッケージにはあまり見られなかった「国際・海外事情」、「家庭・家族」の図書も多く貸出されている。

しかし、そもそも上記キーワードのパッケージ図書がほかのキーワードの図書に比べて多いから、貸出冊数も多くなるとも考えられる。それでは、貸

図4 2018年度キーワードごとの貸出冊数

男女共同参画・ジェンダー	126	その他	131
男女共同参画	73	こころ	21
男女共同参画・ジェンダー問題	8	いのち	17
ジェンダー	45	教育	16
人間関係	52	社会	12
人間関係	52	からだ	11
家庭・家族	48	子ども	10
家庭・家族		SDGs	8
国際・海外事情	35	生き方	6
国際協力、海外事情	21	文化	5
国際関係	6	歴史	5
多文化・国際比較	8	人々	4
しごと	28	政治	3
しごと	17	貧困・格差	3
キャリア	11	介護	2
性的マイノリティ・セクシュアリティ	25	芸術	2
セクシュアリティ	25	食	2
理科系	22	人権	2
理科系	17	経済	1
医療・看護・生命倫理	5	災害	1

出の割合から見たら、どのキーワードの図書が多く借りられていると言えるのであろうか。方法②により、キーワードごとの貸出率を見る。「男女共同参画・ジェンダー」や「国際・海外事情」等、図4でまとめたキーワードはまとめた総計で計算する。結果を図5に記す。

キーワードごとの貸出率を見てみると、貸出冊数でも多く貸出されていた「人間関係」が56.5%と最も高く、「国際・海外事情」は38.0%、「男女共同参画・ジェンダー」も30.2%を超えている。

一方、個別パッケージでニーズがあった「性的マイノリティ・セクシュアリティ」は26.0%、特に「しごと」は貸出率が20.1%と平均貸出率27.5%を下回っている。

図5 キーワードごとの貸出率

	貸出冊数	図書数	貸出率
人間関係	52	92	56.5%
からだ	11	22	50.0%
子ども	10	20	50.0%
家庭・家族	48	100	48.0%
こころ	21	47	44.7%
国際・海外事情	35	93	37.6%
男女共同参画・ジェンダー	126	417	30.2%
生き方	6	20	30.0%
社会	12	42	28.6%
いのち	17	65	26.2%
性的マイノリティ・セクシュアリティ	25	96	26.0%
SDGs	8	31	25.8%
文化	5	20	25.0%
歴史	5	21	23.8%
教育	16	70	22.9%
人々	4	19	21.1%
しごと	28	139	20.1%
貧困・格差	3	18	16.7%
政治	3	20	15.0%
理科系	22	147	15.0%
食	2	20	10.0%
芸術	2	26	7.7%
介護	2	32	6.3%
人権	2	40	5.0%
経済	1	20	5.0%
災害	1	20	5.0%
子育て	0	23	0.0%
スポーツ	0	20	0.0%
計	467	1,700	27.5%

「しごと」について考えられるのは、年間パッケージの利用機関は大学（大学図書館、大学男女共同参画室など）が多いことである。大学生向けのキャリア形成の図書などもパッケージには入れているが、仕事をする上でのより具

体的な図書等は、学生にはあまり身近に感じられず、手に取られにくいのかもしれない。

個別パッケージでは登場しなかったものの、「からだ」(50%)、「子ども」(50%)、「家庭・家族」(48.0%)、「こころ」(44.7%)、「国際・海外事情」(37.6%)はそれぞれ貸出率が高い。それぞれの貸出図書からは共通の特徴を見出すことはできなかったが、貸出率の高い「人間関係」「からだ」「家庭・家族」「こころ」は多くの人にとって身近なテーマであり、手に取りやすかったのではと考えられる。

キーワードごとに貸出数を比べると、個別パッケージでも人気のあるキーワード「男女共同参画・ジェンダー」「人間関係」「しごと」「性的マイノリティ・セクシュアリティ」や「国際・海外事情」「家庭・家族」の図書の貸出冊数が多いことが分かった。貸出率から分析すると、貸出冊数の多かった「人間関係」「国際・海外事情」に加えて「からだ」「家庭・家族」「こころ」など多くの人に親しみのありそうなキーワードの図書や「子ども」が人気であること一方、個別パッケージでニーズのある「性的マイノリティ・セクシュアリティ」、特に「しごと」の図書は貸出率が低いことが分かった。

それでは、具体的にはどのような図書が多く貸出されているのか。まず、方法③により分析した貸出回数 of 最大値が4以上の図書は下記図6の通り。

図6 貸出回数の最大値順パッケージ図書

書名	編著者名	出版社	出版年	キーワード	最大値
人間、最後はひとり。	吉沢久子著	さくら舎	2014	人間関係	7
男脳と女脳：人間関係がうまくいく脳の活用術	茂木健一郎	総合法令出版	2014	人間関係	6
少女が知ってはいけないこと：神話とおとぎ話に描かれた「女性」の歴史	片木智年著	PHPエディターズ・グループ	2008	歴史	6
はつらつ！恒子さん98歳、久子さん95歳楽しみのおすそ分け	笹本恒子	清流出版	2013	人間関係	6
なぜ妻は、夫のやることなすこと気に食わないのか：エイリアン妻と共生するための15の戦略	石藏文信	幻冬舎	2014	人間関係	6

ソボちゃん：いちばん好きな人のこと	有吉玉青	平凡社	2015	家庭・家族	6
心がすっと軽くなるボケた家族の愛しかた	丸尾多重子	高橋書店	2015	家庭・家族	5
言葉通りすぎる男深読みしすぎる女	堀田秀吾	大和書房	2018	ジェンダー	5
松平家心の作法	松平洋史子	講談社	2014	人間関係	4
群れない媚びないこうやって生きてきた	下重暁子	海竜社	2014	人間関係	4
バリジェンヌのスタイルある暮らし	荻野雅代、桜井道子著	大和書房	2014	国際協力、海外事情	4
白雪姫コンプレックス：コロサレヤ・チャイルドの心の中は…	佐藤紀子著	金子書房	2011	こころ	4
人生の請求書	石橋幸子	春風社	2014	人間関係	4
阿部絢子のひとりでもハッピーに生きる技術	阿部絢子	主婦の友社	2013	人間関係	4
ある昭和の家族：「火宅の人」の母と妹たち	笠 耐	岩波書店	2014	家庭・家族	4
「男の娘（おとこのこ）」たち	川本直著	河出書房新社	2014	セクシュアリティ	4
お母さん二人いてもいいかな？レズビアンママ生活	中村キヨ	KKベストセラーズ	2015	セクシュアリティ	4
田園回帰1%戦略：地元にと仕事を取り戻す	藤山浩著	農山漁村文化協会	2015	政治	4
まるごと一冊ジェンダー大特集：多様化する「性」を考える：ジェンダー革命	ナショナルジオグラフィック編	日経ナショナルジオグラフィック社	2016	ジェンダー	4
日本の女は、100年たっても面白い。	深澤真紀著	ベストセラーズ	2014	男女共同参画・ジェンダー問題	4
やりがいから考える自分らしい働き方	矢島里佳	キノブックス	2017	男女共同参画	4
娘たちのいない村：ヨメ不足の連鎖をめぐる雲南ラフの民族誌	堀江未央	京都大学学術出版会	2018	人々	4

上記22冊の図書が少なくとも1機関で4回以上貸出されている。書名などから、学術書よりも読みやすい読み物が多い印象である。一方、貸出率はあまり高くなかったキーワード「歴史」、「セクシュアリティ」、「人々」の図書

も多く借りられている。

パッケージ貸出の目的として、このような読みやすい資料を含めて、男女共同参画やジェンダー問題を考えるきっかけにしてもらうことが挙げられるが、主題である「男女共同参画・ジェンダー」ではどのような図書が貸出されているのであろうか。「男女共同参画・ジェンダー」の貸出回数の最大値が3以上の図書を図7にまとめる。

図7 貸出回数の最大値が3以上の「男女共同参画・ジェンダー」

パッケージ図書

書名	編著者名	出版社	出版年	キーワード	最大値
言葉通りすぎる男深読み しすぎる女	堀田秀吾	大和書房	2018	ジェンダー	5
まるごと一冊ジェンダー 大特集：多様化する「性」 を考える：ジェンダー革命	ナショナルジオ グラフィック編	日経ナショナル ジオグラフィック 社	2016	ジェンダー	4
日本の女は、100年たっ ても面白い。	深澤真紀著	ベストセラーズ	2014	男女共同参画 ・ジェンダー 問題	4
やりがいから考える自分 らしい働き方	矢島里佳	キノブックス	2017	男女共同参画	4
ジェンダーの心理学：心 と行動への新しい視座	鈴木淳子	培風館	2006	男女共同参画	3
働く女性とマタニティ・ ハラスメント：「労働す る身体」と「産む身体」 を生きる	杉浦浩美	大月書店	2009	男女共同参画	3
カムアウトする親子：同 性愛と家族の社会学	三部倫子	御茶の水書房	2014	男女共同参画	3
ジェンダー学への道案内	高橋準著	北樹出版	2014	ジェンダー	3
女の子は本当にピンクが 好きなのか：Think PINK	堀越英美著	Pヴァイン	2016	ジェンダー	3
ジェンダーで学ぶ社会学	伊藤公雄	世界思想社	2015	男女共同参画	3
ジェンダーで考える教育 の現在（いま）：フェミ ニズム教育学をめざして	木村涼子	部落解放・人権 研究所	2008	男女共同参画	3

このリストを見ると、『日本の女は、100年たっても面白い。』<sup>1)</sup> や『女の子は本当にピンクが好きなのか：Think PINK』<sup>2)</sup> など利用者の興味を引きそうな面白い書名が並ぶ一方、専門書も多く利用されている。

また、『まるごと一冊ジェンダー大特集：多様化する「性」を考える：ジェンダー革命』<sup>3)</sup>、『ジェンダー学への道案内』<sup>4)</sup>、『ジェンダーで学ぶ社会学』<sup>5)</sup> といったジェンダー学への入門となる書籍が入っている。Cinii Books<sup>6)</sup> によれば『ジェンダー学への道案内』は所蔵館140館、『ジェンダーで学ぶ社会学』所蔵館293館と、多くの大学図書館が所蔵している(2019年9月26日現在)。他のパッケージ図書とともに配架することで、大学図書館等と同じ図書が所蔵されていても、改めて目に留まることあるのではと考える。

## 4 パッケージ貸出の利用状況の分析から分かったことと今後の課題

本稿では、サービス開始後10年目となったパッケージ貸出の実績を簡単に振り返った上で、近年の個別パッケージのキーワードの変化から利用機関のニーズの変化を分析し、それを踏まえて年間パッケージの利用統計からどのような図書が貸出されているかを考察した。

個別パッケージのキーワードの変遷からは、「男女共同参画・ジェンダー」、「しごと」、「性的マイノリティ・セクシュアリティ」、「人間関係」に例年高いニーズがあり、「しごと」、「性的マイノリティ・セクシュアリティ」は近年ニーズが特に増えていること、新しいテーマとして「SDGs」が登場しており、これらテーマに関心が高まっているだろうことが分かった。

年間パッケージの利用統計からは、個別パッケージでもニーズの多かった「男女共同参画・ジェンダー」、「人間関係」、「しごと」、「性的マイノリティ・セクシュアリティ」や「国際・海外事情」、「家庭・家族」の貸出冊数が多い一方、貸出率は「人間関係」、「国際・海外事情」といった貸出冊数も多かったキーワードに加え、「からだ」、「家庭・家族」、「こころ」など親しみのあ

りそうなキーワードの図書が高いことが分かった。

貸出回数からは、学術書よりも読みやすそうな図書の貸出回数が多く、「男女共同参画・ジェンダー」の図書では多くの大学図書館でも所蔵している入門書が多く借りられていた。このことから、図書館に同じ図書が所蔵されていても、他のパッケージ図書と並べることで、男女共同参画・ジェンダーについての関心が生まれ、手にとられたのでは、と考察した。この結果・考察を踏まえ、今後はパッケージ貸出サービスを次のように改善したい。

まず、現在個別パッケージは基本的には利用機関の所蔵図書は含めないようにしているが、今後は利用機関に所蔵があっても男女共同参画・ジェンダーについての基本的な図書を入れることや、利用機関ですでに所蔵している男女共同参画・ジェンダー関連の図書をパッケージ図書の近くに配架することを提案するなどを検討する。

次に、年間パッケージでは、個別パッケージのニーズからは分からない身近なキーワードの図書の貸出率が高いことが分かったので、引き続き手に取りやすい身近な問題を扱った図書や今回貸出率が高かったキーワードの図書を含めつつ、男女共同参画・ジェンダーを考えるきっかけになるような図書を多く選んでいきたい。

今回の分析の課題として挙げられるのは、同じ図書でもパッケージの構成によっては異なるキーワードが付けられることである。主に女性情報シソーラス<sup>7)</sup>を元にキーワードを付けているが、パッケージ全体の構成上、似た主題の図書でも場合によっては「しごと」または「男女共同参画」、「セクシュアリティ」または「ジェンダー」など異なるキーワードが付与される場合がある。今回は一様に2018年度年間パッケージリストのキーワードに基づいて分析を行ったが、特定のテーマの図書の利用を調べるならば、付与されたキーワードだけでなく、図書がそのテーマに即しているかを一冊ずつ確認したほうが、より正確な利用状況が分かるだろうことに言及しておく。

また、今後の課題としては、これまであまり利用のなかった公共図書館等への利用の拡大が挙げられる。しかし、2014年に匂坂氏<sup>8)</sup>が指摘している

ように、パッケージ貸出の利用が増えるにつれ、情報センターの蔵書が手薄になることが挙げられる。現在パッケージ貸出担当職員で情報センターに配架しておくべきと判断した図書はなるべく年間パッケージなど長期間の貸出には含めないよう工夫をしているが、利用拡大につれてその対応も難しくなることが予想される。情報センターとしては、男女共同参画・ジェンダーの知識を、パッケージ貸出を通して広く普及することはNWECのミッション達成のための重要と考えている。そのため、現在は個別パッケージ50冊、年間パッケージ100冊を基本としているが、今後は気軽に利用できる30冊の個別パッケージの新設や、男女共同参画・ジェンダー学の入門書、基本的な書籍等をパッケージ貸出用の複本として購入することなどを検討し、情報センターの蔵書にかかる負担を減らしつつ、より多くの機関に利用されるサービスにしていきたい。

#### 注

- 1) 深澤真紀 2014『日本の女は、100年たっても面白い。』ベストセラーズ
- 2) 堀越英美 2016『女の子は本当にピンクが好きなのか：Think PINK』Pヴァイン
- 3) ナショナルジオグラフィック編 2016『まるごと一冊ジェンダー大特集：多様化する「性」を考える：ジェンダー革命』日経ナショナルジオグラフィック社（『NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版』第23巻1号だが、情報センターでは書籍として登録している）
- 4) 高橋 準 2014『ジェンダー学への道案内』北樹出版
- 5) 伊藤公雄 2015『ジェンダーで学ぶ社会学』世界思想社
- 6) Cinii Books 大学図書館の本を探す <https://ci.nii.ac.jp/books/>（2019/9/26 閲覧）
- 7) 女性情報シソーラス

<https://www.nwec.jp/database/list/http://www.nwec.jp/jp/portal/page03.html>（2019/9/26 閲覧）

女性情報シソーラス用語データベース

[https://winet.nwec.jp/cgi-bin/thesaurus/class/r\\_search.cgi](https://winet.nwec.jp/cgi-bin/thesaurus/class/r_search.cgi) (2019/9/26 閲覧)

## 参考文献

匂坂佳代子 2014 「国立女性教育会館女性教育情報センターの図書パッケージ貸出サービス」『大学図書館研究』第101巻：68－74 国公私立大学図書館協力委員会大学図書館研究編集委員会

## 資料

図8 2016年度～2019年9月までの個別パッケージキーワード一覧

2016

1	男女共同参画、ライフスタイル、コミュニケーション、アート、食
2	自伝、女性史
3	アイデンティティ、キャリア、政治、文学、メディア
4	学校、児童福祉、生活、人間関係
5	LGBT、暮らし、経済、憲法・人権、災害、男女共同参画、人間関係、ライフキャリア
6	医師・看護師、社会、生き方、キャリア、理科系、人間関係、男女共同参画、ワークライフバランス、言語とジェンダー
7	理科系、日本のジェンダー問題に関する英語文献
8	LGBT、子ども、ジェンダー、性教育・生殖医療、法律・人権
9	女性の活躍、セクシュアリティ、ダイバーシティ
10	理科系、政治、日本のジェンダー問題に関する英語文献
11	理科系、日本のジェンダー問題に関する英語文献

2017

1	貧困問題（国内の女性・子ども・ひとり親等に関するもの）
2	女性への暴力・ハラスメント、女性の人権に関するもの
3	女性と映像作品
4	メディア、生き方、男女共同参画、こころ、アート
5	政治、食、文学、コミュニケーション、高齢化社会
6	性的マイノリティ、理科系、日本のジェンダー問題に関する英語文献
7	男性問題、文化
8	起業、大橋鎮子、広岡浅子、吉行あぐり、小篠綾子、村岡花子、坂野惇子、竹鶴リタ、吉本せい、平塚らいてう
9	女性の起業・創業、男女平等参画

第13章 パッケージ貸出利用状況の分析

10	ジェンダー、自殺防止、人権、セクシュアリティ、男女共同参画
11	医師・看護師、キャリア、芸術・スポーツ、憲法・人権、災害と女性、仕事、セクシュアリティ、男女共同参画、人間関係、ワークライフバランス
12	男女共同参画とキャリアデザイン
13	ワークライフバランス
14	LGBT、女性学・男性学、性教育

2018

1	いのち、しごと、性的マイノリティ、理科系
2	介護、家庭教育・家族、コミュニケーション
3	政治と男女共同参画
4	ワーク・ライフ・バランス
5	男女雇用機会均等法、働く女性
6	生き方、しごと、セクシュアリティ、男性学、人間関係
7	医師・看護師、キャリア、災害と女性、男女共同参画、学び、ワークライフバランス
8	LGBT、ジェンダー、性教育、男女協働、ハラスメント
9	SDGs
10	家庭教育、子育て支援、児童虐待、早期教育、ワーク・ライフ・バランス
11	男女共同参画社会とキャリアデザイン
12	LGBT、子育て・介護
13	ライフコース
14	DV、コミュニケーション、男女共同参画、男性学
15	防災、女性と災害
16	ジェンダー、人権、セクシュアリティ、男女共同参画
17	LGBT、セクシュアリティ
18	性差、女人禁制、アスリート、社会的差別、ハラスメント、働き方、人間関係
19	男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス

2019

1	政治と男女共同参画
2	科学・家族・環境・教育・ジェンダー・社会・生命倫理・出産・国際
3	男女共同参画・仕事と子育て・介護・LGBT
4	SDGs・介護・しごと・スポーツ・セクシュアリティ
5	社会・大学生活・ライフスタイル
6	スポーツ・理科系・LGBT・生き方
7	キャリア・出産・LGBT
8	認知症・介護、ひきこもり・いじめ、LGBT

(ほしの・さき 国立女性教育会館情報課情報係主任)